

## 手をつなごう弟

福井県 福井市和田小学校 六年

服部 奏海

私の弟は、5年生で障害をもっています。学校はちがくて福井特別支援学校に通っています。

私は、弟がうまれてきたときを知りません。どう産まれてきたかも知りません。1つちがいなので、記憶がありませんが、産まれてきたときの写真を見ると、鼻に管が通っていて体中にいっぱい病院の器具がついていました。

私は、小さいときから弟を可愛がっていたと思います。出掛ける時も弟をクスタス笑っている子がいいます。その子を私はにらみつけます。弟をバカにする子は誰が相手でも許しません。

弟は、私がしつこくつきまとうとイヤな顔をします。私が来たただけでイヤな顔をするときもあります。でも、弟が夜おそくまで起きているときは、私が手をつないであげます。そのときはうれしそうにニコッと笑ってくれます。そんな弟が愛しくてたまりません。

弟は、私の学校に行くことがあります。お母さんにはいつも「私の教室に来てほしいな」と言っています。みんなにも弟のことをしょうかいしたいからです。ついこの前も小学校に来ました。その時は、歌声集会でした。歌っているとき、弟の笑顔が見えました。そこで分かりました。弟はきつと歌が好きだなんて。その日は、休み時間、大休み……とたくさん弟を見にいきました。見に行くたびに、弟は笑顔に変わります。3日

くらいたつと同じ5年生の子たちとふれあっている写真がとどきました。どの写真も笑顔で5年生の子たちはあたたかく弟にしゃべりかけているのが分かりました。私は、そのすがたに感動しました。

弟は、まだしゃべれないしてません。でもきつと大人になつたらその病気を治す薬ができると思います。その薬を使つて弟の病気を治します。弟の病院について行くと、いろいろな障害をもつた子がいいます。私は少しでもその子たちのためにできることを見つけたいと思いました。目の不自由な人たちには、世の中のすばらしさを見せてあげたいし、足の不自由な人たちには、私の手とその人たちの手をつなぎ立たせてあげたいです。弟の人生もまだまだあります。その人生が終わるときまで、世の中のすばらしさを教えてあげたいし、病気だつて治したいし、弟の好きな物、得意なことなどが知りたいです。弟の周りにいる人たちは、いつも弟のことを一生懸命支えてくれていきます。私はその人たちをおいこすぐらい弟の人生を楽しくしていきたいと思います。もしも弟が私の家族じゃなかったら私は病気の人たちの事を考えていなかったと思います。弟が私の家族で良かったつてあらためて思いました。弟のおかげで優しさを学びました。人生で大切なことを教えてくれた弟を悲しませたくないです。だから将来、弟と一緒に手をつないで立ち上がりたいです。